

平成 27 年度

部局別予算要求のポイント

平成 26 年 11 月

高 山 市

- ・各部局の要求額は、人件費、繰出金及び予備費等を含んでいません。

危機管理室

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	95,066	137,275	42,209	44.40

主な増減理由

・防災ラジオ普及事業の見直しによる増

42,740千円

要求に関する基本方針

- 大規模災害を想定した実践的な防災訓練の充実
- 市民の生命・身体及び財産を災害から守るための体制の整備

要求のポイント

() は前年度予算額

<防災>

- 実践的な防災訓練の実施

4,846千円
(4,400千円)

大規模地震の発生を想定した実践的な防災訓練に必要な経費を計上

 - ・会場設営委託、訓練用消耗品購入 ほか
- 災害対策事業の推進

127,108千円
(85,402千円)

災害発生など不測の事態に備え、地域防災力の強化を図るために必要な経費を計上

 - ・防災備蓄物資購入
 - ・防災エキスパートの育成
 - ・自動起動防災ラジオ購入 ほか

海外戦略室

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	73,208	71,071	△ 2,137	△ 2.92

主な増減理由

- ・デンバー市との姉妹都市提携55周年記念事業の増 1,500千円
- ・公衆無線LAN整備費の減 △6,000千円

要求に関する基本方針

- 誘客・物販・交流の相乗効果の創出

要求のポイント

() は前年度予算額

<海外戦略>

- 効果の高い誘客・販売展開 41,029千円
(45,840千円)

ターゲットを明確にした誘客・販売活動強化を図るために必要な経費を計上

- ・海外の国・地域のニーズに合った多言語サイトの運営
- ・公衆無線LANサービスの運営とマーケティングへの活用
- ・物販のPRも兼ねた誘客活動
- ・海外販売の状況調査
- ・外国人が滞在しやすい環境の整備（ボランティア通訳ガイド養成）
- ・消費税免税制度の活用促進のための研修会等の開催

<交流>

- 海外の国・地域とのつながりの強化 30,042千円
(27,368千円)

姉妹友好都市との絆の強化を図るために必要な経費を計上

- ・姉妹友好都市との具体的な交流の推進
- ・デンバー市との姉妹都市提携55周年記念事業の実施
- ・誘客や物販につながる交流の推進

国際化推進のために必要な経費を計上

- ・海外の国・地域との相互理解の促進

企 画 管 理 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,679,129	1,337,354	△ 341,775	△ 20.35

主な増減理由

・就農関係移住施策の集約による減	△ 6,908千円
・地域審議会委員報酬の減	△ 4,550千円
・情報通信基盤整備事業補助金の減	△ 250,000千円
・地域づくり振興事業費の減	△ 126,600千円
・国勢調査をはじめとした諸統計調査費の増	21,560千円

要求に関する基本方針

- 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現
- 開かれた市政（広報広聴）による市民とのよりよい関係づくり
- 簡素で効率的な行政運営や持続可能な行財政基盤の確立を図るための行政改革の推進
- 行政を取り巻く環境の変化に的確に対応できる職員の育成
- 情報社会の恩恵を享受できる情報通信基盤の整備及び情報通信技術の活用
- 効率的で利便性が高い公共交通体系の確保

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<協働>

- 行政情報の提供と広聴事業の推進 95,624千円
(95,624千円)

各種媒体による情報発信等に必要な経費を計上

- ・広報たかやまの発行、FM放送・CATV番組の制作
- ・政策検討市民委員会及び市民と市長の対話集会の開催 ほか

<行財政運営>

- 職員の意識改革と資質向上の推進 23,046千円
(27,200千円)
- 職員研修や人事交流に必要な経費を計上
- ・階層別研修をはじめ各種研修の実施
 - ・省庁等への職員派遣 ほか

<情報>

- 情報通信基盤整備の推進 267,420千円
(500,000千円)
- C A T V事業の整備促進に必要な経費を計上
- ・C A T V事業者の情報通信基盤の整備に対する助成
- 電子市役所の構築 396,812千円
(440,985千円)
- 情報システムの整備、運用等に必要な経費を計上
- ・社会保障・税番号制度導入に向けたシステム改修 ほか

<公共交通>

- 生活に必要な公共交通の確保 205,740千円
(204,240千円)
- バス運行等に必要な経費を計上
- ・まちなみバス、のらマイカーの運行 ほか

財 務 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	6,594,496	6,379,150	△ 215,346	△ 3.27

主な増減理由

- ・市債残高の減少及び利率見直しによる公債費の減 △ 190,652千円
- ・市有施設解体工事費の減 △ 49,700千円
- ・支所庁舎整備による増 21,500千円

要求に関する基本方針

- 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現
- 社会情勢の変化や行政課題に対応した財産管理の推進
- 公平な課税と税収納率の向上

要求のポイント

() は前年度予算額

<行財政運営>

- 庁舎等の適正管理と必要な整備の推進 459,759千円
(414,188千円)
行政事務の円滑な実施に必要な経費を計上
 - ・庁舎、公用車等の維持管理
 - ・支所庁舎整備基本設計
- 財産管理の適正化と効率的な運用 64,963千円
(140,041千円)
公有財産の適正な管理と未利用財産の活用や処分に必要な経費を計上
 - ・市営墓地の管理
 - ・市有施設の火災保険の加入
 - ・普通財産の管理や活用、処分のための測量業務 ほか
- 公平な課税と税収納率の向上 44,263千円
(38,200千円)
固定資産税等の公平・公正な賦課を行うために必要な経費を計上
 - ・字絵図書替
 - ・家屋所在地番等調査
 - ・固定資産現況調査等
 - ・土地鑑定評価 ほか

市 民 活 動 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	875,398	1,174,524	299,126	34.17

主な増減理由

・地域づくり活動への財政支援制度創設による増	250,000千円
・飛騨高山文化芸術祭プレイベント開催による増	15,500千円
・生涯学習施設の整備による増	41,120千円

要求に関する基本方針

- 協働のまちづくりによる地域課題の解決
- 豊かで活力あるまちづくりに活かされる生涯学習の推進
- 市民自ら自発的・主体的に創造する新たな文化芸術の振興
- スポーツに親しむことのできる環境づくりの推進

要求のポイント

() は前年度予算額

<協働>

- 協働のまちづくりの推進 288,109千円
(67,998千円)

地域づくり活動と市民活動を推進するために必要な経費を計上

- ・まちづくり協議会による地域づくり活動への支援
- ・市民活動団体への助成
- ・町内会防犯灯の改修等の助成
- ・町内会への加入促進 ほか

- 男女共同参画の推進 1,557千円
(1,341千円)

第4次高山市男女共同参画基本計画の着実な推進を図るために必要な経費を計上

- ・意識の高揚を図るための講演会や講座などの開催
- ・講師派遣などによるワーク・ライフ・バランスの推進

<交流・地域福祉>

- 平和等に関する意識の醸成 2, 308千円
(5, 268千円)

平和や人権に対する意識の高揚を図るために必要な経費を計上

- ・ 高山市平和の日の啓発と平和シンポジウムの開催
- ・ 人権講演会の開催

<生涯学習>

- 生涯学習の推進 453, 270千円
(416, 350千円)

生涯学習機会の提供や生涯学習施設の維持管理に必要な経費を計上

- ・ 生涯学習講座の開催
- ・ 子ども夢創造事業（科学）の実施
- ・ 生涯学習施設の整備と維持管理 ほか

- まちづくりを担う人材の育成 4, 086千円
(2, 974千円)

人材の育成と学習機会の提供に必要な経費を計上

- ・ まちづくりを担うリーダーを養成するための研修等の開催
- ・ 現代的、社会的課題についての学習情報の提供
- ・ 地域における社会教育活動の推進

<文化芸術>

- 文化芸術の振興 75, 887千円
(64, 000千円)

文化芸術の市民生活への浸透と文化芸術の振興を図るために必要な経費を計上

- ・ 市民の自主的な文化芸術活動に対する支援
- ・ 飛騨高山文化芸術祭プレイベントの開催
- ・ 美術展覧会等の開催
- ・ 子ども夢創造事業（文化芸術）の実施
- ・ 文化芸術鑑賞事業の実施
- ・ 新たな文化芸術発信事業の実施 ほか

<スポーツ>

- スポーツの振興 19, 956千円
(22, 632千円)

スポーツの振興を図るために必要な経費を計上

- ・ 子ども夢創造事業（スポーツ）の実施
- ・ スポーツ指導者の養成及びスポーツ教室の開催
- ・ スポーツ少年団活動、各種スポーツ大会開催に対する支援 ほか

- 高地トレーニングエリアの充実 87, 076千円
(23, 862千円)

高地トレーニングエリアの利用促進を図るために必要な経費を計上

- ・ トップアスリート受入体制の整備
- ・ 高地トレーニング施設の維持管理と利用促進

福祉部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	8,787,163	8,734,301	△ 52,862	△ 0.60
介護保険事業特別会計 (保険事業勘定)	8,924,629	9,399,250	474,621	5.32
介護保険事業特別会計 (介護サービス事業勘定)	28,615	－	△ 28,615	皆減

主な増減理由

・福祉サービス総合相談支援センター創設による増	27,896千円
・障がい福祉サービス給付費の増	130,448千円
・保育所に要する経費の増	98,171千円
・臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の減	△359,000千円
・要介護（要支援）認定者の増加に伴う介護給付費の増	416,978千円
・地域包括支援センター委託化による増	51,224千円
・介護サービス事業勘定廃止による減	△28,615千円

要求に関する基本方針

- 子どもが健やかに育つ環境整備の推進
- 住み慣れたまちに快適に安心して住み続けるための支援
- 健全な介護保険事業の運営

要求のポイント

() は前年度予算額

<地域福祉>

- 総合的な相談機能の強化（新規）
27,896千円
(0千円)
福祉サービス総合相談支援センターの設置に必要な経費を計上
・一般相談、生活困窮者相談、障がい者（児）相談
- 低所得者への支援
604,936千円
(653,207千円)
適切な生活保護制度の運営に必要な経費を計上
・生活保護受給者への支援

<障がい者福祉>

○ 障がい者が安心して快適に暮らせる環境づくり

1, 965, 142千円
(1, 816, 675千円)

障害者総合支援法等に対応したサービス提供に必要な経費を計上

・障がい福祉サービス等の給付、障がい者就労支援事業の実施 ほか

<児童福祉>

○ 障がい児の健全な育成

229, 973千円
(145, 700千円)

障がい児の健全育成を支援するための経費を計上

・障がい児の通所に対する支援 ほか

○ 保育環境の改善

1, 847, 509千円
(1, 702, 719千円)

保育内容の充実等に必要な経費を計上

・子ども・子育て支援新制度への移行

・私立保育園の改修、通園バス購入に対する助成 ほか

<高齢者福祉>

○ 高齢者の安全で安心した生活の支援

250, 548千円
(245, 387千円)

高齢者の安全で安心した生活や生きがいづくりを支援するための経費を計上

・買い物、掃除、玄関先の除雪などの支援や通院、買い物などの外出支援

・長寿会活動に対する助成

・住宅のバリアフリー改修や屋根雪融雪装置の設置に対する助成

・温泉保養施設等の利用に対する助成 ほか

○ 老人福祉施設の運営

134, 835千円
(102, 676千円)

老人福祉施設の運営・維持管理に要する経費を計上

・福祉センター等の運営 ほか

○ 健全な介護保険事業の運営

9, 138, 870千円
(8, 721, 892千円)

介護認定、保険料の賦課徴収、介護給付に必要な経費を計上

・介護サービス等の給付、介護認定審査会の開催 ほか

○ 介護予防の推進及び家族介護の支援

256, 111千円
(197, 975千円)

高齢者の介護予防や在宅で介護する家族を支援する経費を計上

・通所型介護予防教室や高齢者健康教室の開催、自主活動の支援、認知症高齢者の早期発見

・短期宿泊、ホームヘルパー派遣の実施

・介護予防が必要な高齢者の把握調査

・在宅で介護する家族に対する介護用品や慰労金の支給

・地域包括支援センターの委託化 ほか

市 民 保 健 部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,708,696	1,784,958	76,262	4.46
国民健康保険事業 特別会計（事業勘定）	10,475,012	11,721,743	1,246,731	11.90
国民健康保険事業 特別会計（直診勘定）	275,033	239,623	△ 35,410	△ 12.87
後期高齢者医療 事業特別会計	1,034,242	1,071,774	37,532	3.63

主な増減理由

- ・ 定期予防接種拡大による増 34,358千円
- ・ 一般不妊治療費補助金の新設による増 4,800千円
- ・ 国保特別会計の保険財政共同安定化事業拡大による増 1,570,000千円
- ・ 医薬品衛生材料費の減 △56,279千円
- ・ 後期高齢者医療健診事業の増 11,600千円

要求に関する基本方針

- 新火葬場建設の推進
- 社会保障・税番号制度関連システムの整備
- 国民健康保険財政の適正化
- 健康増進事業の充実
- 疾病予防対策の推進
- 地域医療体制及び救急医療体制の充実

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

＜生活環境＞

- 火葬場の運営 82,532千円
(51,430千円)

市営火葬場の維持管理、新火葬場建設準備に必要な経費を計上

- ・ 火葬場の設備改修と維持管理
- ・ 建設準備に向けた建設検討委員会の設置、環境調査

〈保健・医療〉

○ 国民健康保険財政の適正化 11,721,743千円
(10,475,012千円)

国民健康保険事業の円滑な運営に必要な経費を計上

・ 保険財政共同安定化事業の拡大

○ 後期高齢者医療健診事業の充実 13,095千円
(0千円)

口腔機能低下予防を図り、肺炎等の疾病を予防するため歯科健診の実施（新規）

○ 市民の健康増進の推進 524,889千円
(485,049千円)

市民の健康増進のために必要な経費を計上

- ・ 健康診査、がん検診の実施
- ・ 妊婦健康診査に対する助成、乳幼児健診の実施
- ・ 予防接種の実施
- ・ 不妊治療に対する助成（治療対象の拡大）
- ・ メンタルヘルスチェックシステムの導入（新規） ほか

○ 地域医療体制の充実 662,895千円
(694,213千円)

医師確保のための環境整備や救急医療体制の確保に必要な経費を計上

- ・ 非常勤医等の確保、高度医療機器の整備等に対する助成
- ・ 直営診療所の運営
- ・ 休日診療所の運営
- ・ 在宅当番医制、病院群輪番制、救命救急センターの運営に対する助成
- ・ 24時間電話医療相談 ほか

環境政策部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,244,453	1,145,592	△ 98,861	△ 7.94

主な増減理由

- ・新エネルギービジョンに基づく自然エネルギー普及促進事業の増
49,505千円
- ・防災拠点施設への新エネルギー導入事業の減
△170,000千円
- ・住宅エコ推進事業の減
△120,000千円
- ・山岳トイレ整備助成など自然公園における環境整備の増
17,000千円
- ・長期修繕計画に基づく焼却施設保守点検業務の増
27,268千円
- ・新ごみ処理施設整備に向けた調査費等の増
58,357千円

要求に関する基本方針

- 自然エネルギーによるまちづくりの推進
- 地球温暖化対策の推進による温室効果ガス排出量の削減
- 自然と共生するまちを目指した生物多様性保全の推進
- 公害の発生防止
- ごみ処理施設の適正な維持管理
- 新ごみ処理施設の建設準備

要求のポイント

() は前年度予算額

〈地球環境〉

- 自然エネルギー活用日本一を目指したまちづくりの推進

11,385千円
(9,210千円)

自然エネルギーによるまちづくりの推進に必要な経費を計上

- ・自然エネルギーによるまちづくり「飛騨高山モデル」の構築
- ・自然エネルギー利用の普及啓発 ほか

○ 地球温暖化対策の推進 128, 193千円
(244, 000千円)

地球温暖化対策の推進に向けた設備導入等の支援に必要な経費を計上

- ・「屋根貸し」による公共施設への太陽光発電システムの導入
- ・太陽光発電システム、太陽熱利用システム設置に対する助成
- ・電気自動車の普及促進（急速充電器の整備等）
- ・木質バイオマス活用に対する助成
- ・コミュニティ団体等による自然エネルギー設備導入等モデル事業に対する助成

○ 生物多様性保全の推進 11, 492千円
(9, 135千円)

自然環境の保全や生物多様性保全の意識啓発に必要な経費を計上

- ・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習の推進
- ・いのちの森づくり（苗木植樹等）
- ・特定外来植物（オオハンゴンソウ等）の防除

○ 自然公園の保全と活用 77, 631千円
(58, 178千円)

自然公園の保全と利用促進のための施設整備等に必要な経費を計上

- ・山岳トイレの整備に対する助成
- ・ジオパーク・ユネスコエコパークの推進 ほか

<生活環境>

○ 快適に暮らせる環境の整備 5, 270千円
(2, 870千円)

公害発生の防止に必要な経費を計上

- ・河川水質の監視、騒音・悪臭苦情にかかる調査

○ 資源循環型社会の実現 905, 747千円
(793, 130千円)

ごみの収集、焼却、埋立、減量化、資源化や施設の維持管理等に必要な経費を計上

- ・小型家電の資源化
- ・長期修繕計画に基づくごみ焼却施設の保守点検
- ・新ごみ処理施設整備に向けた環境調査 ほか

農 政 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,401,340	1,758,154	356,814	25.46
地方卸売市場 事業特別会計	32,500	30,702	△ 1,798	△ 5.53

主な増減理由

・多面的機能支払事業費の増	192,920千円
・農地集積事業補助金の増	24,800千円
・6次産業化ネットワーク活動交付金の増	11,505千円
・地籍調査事業の増	92,224千円

要求に関する基本方針

- 新規就農者の確保と認定農業者の育成
- 地域ぐるみの取り組みによる農地・施設の保全と鳥獣被害対策の強化
- 安全・安心な農畜産物の生産拡大と地産地消や6次産業化の推進による販路の拡大
- 災害に強い森林づくりを進めるための間伐等森林整備の促進
- 効率的な木材生産及び木材の利用拡大
- 活気ある生産地づくりと畜産物の供給の安定化

要求のポイント

() は前年度予算額

<農業>

- 新規就農者や認定農業者の育成支援

131,831千円
(127,000千円)

農業の担い手確保、育成支援のために必要な経費を計上

 - ・経営開始した青年就農者に対する給付金の支給
 - ・機械、施設整備導入に対する助成
- 農作物獣害防止対策の強化

157,704千円
(142,390千円)

鳥獣による農作物への被害を防止するために必要な経費を計上

 - ・地域ぐるみの鳥獣被害防止活動や侵入防止柵の整備等に対する助成
 - ・有害鳥獣捕獲隊の育成に対する助成

○ 農地の集積や集約化の促進 29,800千円
(5,000千円)

農地の集積や集約化を促進するために必要な経費を計上
・ 農地の出し手や担い手等に対する農地集積支援

○ 農業の多面的機能の維持・向上 243,440千円
(50,520千円)

地域活動や営農の継続等に必要な経費を計上
・ 農業の多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する助成

<林業>

○ 森林境界明確化の推進 171,713千円
(79,489千円)

森林施業を促進する境界明確化のための経費を計上
・ 地籍調査
・ 水源林の境界明確化

○ 木材の利用促進 49,090千円
(45,590千円)

市産材の活用促進に必要な経費を計上
・ 市産材を活用した住宅等建設に対する助成
・ 未利用資源の活用

<畜産業>

○ 畜産振興の推進 1,740千円
(990千円)

畜産振興を図るために必要な経費を計上
・ 全日本ホルスタイン共進会および市畜産共進会への助成

商 工 観 光 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	3,231,701	3,107,998	△ 123,703	△ 3.83
観光施設事業 特別会計	93,815	105,394	11,579	12.34

主な増減理由

- ・ 伝統的工芸品産業等の振興策の推進による増 2,040千円
- ・ 外部有識者の活用によるブランド振興策推進による増 7,272千円
- ・ 中心市街地の活性化事業の推進による増 26,975千円
- ・ 緊急景気対策利子補給等の終了による減 △132,865千円

要求に関する基本方針

- 中小企業の経営の安定化のための融資事業の推進
- 飛騨高山ブランドの競争力強化に向けた施策の推進
- 伝統的工芸品産業等の技術の継承、後継者育成に向けた施策の推進
- 中心市街地の活性化に向けた施策の推進
- 企業立地に向けた積極的な誘致活動の推進
- 観光客500万人を目指した戦略的誘客宣伝事業等の展開
- 利用者の満足度向上や安全管理のために必要な観光施設の整備

要求のポイント

() は前年度予算額

<商業> <工業> <労働>

- 中小企業等融資事業の推進 1,907,586千円
(2,040,451千円)

中小企業者、勤労者向けの低利融資の実施に必要な経費を計上

- ・ 創業支援資金融資、小口融資、経営安定特別資金融資
- ・ 創業者、セーフティネット認定対象事業者への利子補給（新規）
- ・ 勤労者生活安定資金融資、勤労者住宅資金融資

<商業><工業>

○ 飛騨高山ブランドの競争力強化 45,602千円
(38,330千円)

特産品の積極的な宣伝・販路拡大、ブランド力の強化に必要な経費を計上

- ・ 外部有識者の活用によるマーケティング、ブランド力の強化
- ・ 飛騨高山ブランド振興事業に対する助成
- ・ 飛騨高山展開催事業に対する助成
- ・ メイド・イン飛騨高山の認定制度の創設（新規） ほか

○ 伝統的工芸品産業等の振興策の推進 46,789千円
(44,749千円)

伝統的工芸品産業等の販路拡大、後継者育成等に必要な経費を計上

- ・ 後継者育成事業の対象の拡大
- ・ 伝統的工芸品産業振興団体に対する助成
- ・ 飛騨高山の名匠認定 ほか

<商業>

○ 中心市街地の活性化 118,515千円
(91,540千円)

中心市街地活性化のための商店街機能の向上やにぎわい創出のほか、居住促進に必要な経費を計上

- ・ 商店街機能強化、空き店舗対策事業等に対する助成
- ・ まちなか居住促進にかかる助成

<工業>

○ 企業誘致対策の推進 226,848千円
(181,566千円)

企業誘致を推進するために必要な経費を計上

- ・ 企業誘致促進制度による企業誘致活動

<観光>

○ 誘客宣伝の実施 239,388千円
(261,518千円)

観光宣伝、高山祭、各種イベントなど、誘客に必要な経費を計上

- ・ 北陸新幹線開業に合わせた広域連携誘客宣伝事業の推進
- ・ 飛騨高山ウルトラマラソンの開催
- ・ コンベンションの開催に対する助成
- ・ 観光関連団体の誘客宣伝事業等に対する助成
- ・ 観光振興イベントの開催に対する助成 ほか

○ 観光施設の運営 409,961千円
(421,607千円)

温泉施設、キャンプ場、スキー場等の運営及び施設整備等に必要な経費を計上

- ・ 観光施設の運営、整備

基 盤 整 備 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	4,202,119	6,867,063	2,664,944	63.42

主な増減理由

- ・千島線、花本線（広瀬踏切）他道路整備事業の増 373,860千円
- ・高山駅周辺土地区画整理事業の増 1,802,819千円

要求に関する基本方針

- 駅周辺土地区画整理事業区域と結節する基幹道路整備による交通環境の向上
- 高速道路網、地域間連絡道路網の整備促進による道路利用者の快適性向上
- 市民の生活と生命・財産を守るための災害に強い社会基盤整備の推進
- 道路などの安全性確保と道路網の健全な維持（地域要望への対応）
- 良好な景観の保全と創出の推進
- 安心・快適に住み続けられる居住環境の整備
- 高山駅周辺土地区画整理事業と自由通路（駅舎）整備事業の計画的実施

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<道路>

- 街路事業の推進 648,520千円
(757,778千円)
 道路交通の円滑化と魅力ある市街地創出のための街路整備に必要な経費を計上
 ・西之一色花岡線、高山駅東口線
- 道路新設改良事業の推進 876,060千円
(502,200千円)
 道路交通の円滑化を図るための道路新設改良に必要な経費を計上
 ・村上田頃家線（村上橋）、福地線（百合見橋）、花本線（広瀬踏切）、
 千島線 ほか

- 道路維持修繕事業の推進 665,700千円
(423,000千円)

道路の安全性確保や道路網の維持に必要な経費を計上

・道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋りょう修繕 ほか

<防災>

- 橋りょう耐震補強事業の推進 270,000千円
(277,800千円)

地震に強いまちづくりの推進に必要な経費を計上

・長寿命化修繕計画に基づく橋りょう11橋の耐震補強を実施
(穂枝橋、神橋、小舟橋、臼本橋、昭和橋、柳橋ほか)

<土地利用>

- 高山駅周辺土地区画整理事業の推進 2,546,978千円
(744,159千円)

高山駅周辺土地区画整理事業等に必要な経費を計上

・自由通路整備、高山駅西口駅前広場整備、西之一色花岡線整備 ほか

<景観>

- 良好な景観の保全と創出の推進 38,199千円
(23,931千円)

良好な景観の保全と創出を推進し、地域資源として活用するための経費を計上

・市街地景観保存区域建造物や地域住民の景観保存活動に対する助成 ほか

<住宅公園>

- 市営住宅改修整備事業の推進 44,090千円
(22,000千円)

安全で快適な住環境を提供するための施設整備に必要な経費を計上

・市営住宅の改修

- 公園等改修整備事業の推進 54,200千円
(37,500千円)

安全安心な公園利用の促進に必要な経費を計上

・公園の改修、まちかどスポット「憩いの場」の整備 ほか

水 道 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	237,452	259,396	21,944	9.24
下水道事業 特別会計	3,578,734	3,222,419	△ 356,315	△ 9.96
簡易水道事業 特別会計	577,064	—	△ 577,064	皆減
農業集落排水 事業特別会計	588,044	618,230	30,186	5.13
水道事業 会計	1,903,428	3,063,032	1,159,604	60.92

主な増減理由

・ 経営統合に伴う減価償却費等の増（上水）	288,485千円
・ 基幹管路耐震化事業費の増（上水）	367,595千円
・ 簡易水道事業の廃止による減	△ 577,064千円
・ 終末処理場長寿命化及び更新費用の減（下水）	△ 652,495千円
・ 特定環境保全管きょ建設事業費の増（下水）	173,229千円
・ 農集処理施設長寿命化及び更新費用等の増（農集）	28,800千円

要求に関する基本方針

- 安全安心な水を安定して供給するための施設整備及び経営の安定化
- 安全安心な水を安定して供給するための水源の保全と確保
- 生活環境の向上と公共用水域の水質保全
- 地域の特性に応じた下水処理施設の整備及び水洗化の普及

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<上下水道>

- 水源の保全と浄水施設整備の推進
 - 165,129千円
(97,263千円)
 - 水源地の保全と安全・安心な水を安定して供給するための施設整備に必要な経費を計上
 - ・ 宮水源周辺用地の取得
 - ・ 六厩浄水場基幹改良事業

○ 基幹管路の耐震化と老朽管布設替の推進 576,718千円
(209,123千円)

安全安心な水を安定して供給するための施設改良に必要な経費を計上

- ・ 基幹管路の耐震化整備
- ・ 老朽管の布設替工事
- ・ 道路改良及び災害復旧に伴う布設替工事 ほか

○ 配水施設整備の推進 60,300千円
(37,206千円)

安全安心な水を安定して供給するための配水施設整備に必要な経費を計上

- ・ 配給水区域再編事業（まこも、鍋山、大洞）
- ・ 未給水地区解消 ほか

○ 公共下水道の管きょ布設、マンホール蓋更新 81,850千円
(28,278千円)

生活環境の向上及び水質環境の保全を図るため下水処理施設整備に必要な経費を計上

- ・ マンホール蓋の更新（200箇所） ほか

○ 特定環境保全公共下水道の管きょ布設 373,894千円
(200,665千円)

生活環境の向上及び水質環境の保全を図るため下水処理施設整備に必要な経費を計上

- ・ 管きょ布設（国府町三川地区、奥飛騨温泉郷中尾地区）

○ 農業集落排水施設の機器の長寿命化及び更新 28,800千円
(0千円)

農業集落排水処理施設の設備・機器の長寿命化及び更新に必要な経費を計上

- ・ 農業集落排水処理施設の長寿命化工事

会 計 室

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,176,804	1,074,010	△ 102,794	△ 8.74

主な増減理由

- ・ 基金積立の減

要求に関する基本方針

- 効率的な基金及び歳計現金の運用
- 合理的な会計事務の推進

要求のポイント

() は前年度予算額

<行財政運営>

- 適正な会計事務の実施

2,207千円
(1,985千円)

効率的な出納事務遂行のための職員の研修会の実施
歳計現金の適正な管理

- より有利で安全な基金の運用

1,051,865千円
(1,051,319千円)

効率的な基金の積立運用

監 査 委 員 事 務 局

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	7,576	7,876	300	3.96

要求に関する基本方針

- 市民の視点に立った公平公正な監査等の充実

要求のポイント

() は前年度予算額

<行財政運営>

- 適正な行財政運営に資する監査等の実施

6,640千円
(6,393千円)

監査等の充実に必要な経費を計上

議 会 事 務 局

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	33,258	33,550	292	0.88

要求に関する基本方針

○ 市民にとって、わかりやすく開かれた議会運営

要求のポイント

() は前年度予算額

<行財政運営>

○ 円滑な議会運営

33,550千円
(33,258千円)

議会運営に必要な経費を計上

- ・ 議会・委員会等の開催
- ・ 政策提言の実施
- ・ 市民意見交換会（地域別・分野別）の開催
- ・ 議会広報紙の発行
- ・ 議会審議の中継
- ・ 議会情報及び会議録の公開
- ・ 議会関係事務

教 育 委 員 会

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,774,797	2,217,338	442,541	24.93
学校給食費 特別会計	405,000	399,252	△ 5,748	△ 1.42

主な増減理由

・小中学校校舎大規模改修事業の増	129,650千円
・小中学校の施設等修繕費の増	34,250千円
・小学校教科書改訂による指導書購入費の増	25,548千円
・旧森邸等整備事業の増	118,480千円

要求に関する基本方針

- 教育の質や教育力の向上と、地域全体による郷土教育の推進
- 学びのセーフティネットの構築
- 地域文化の継承や歴史的町並保存の推進

要求のポイント

() は前年度予算額

<学校教育>

- 教育の充実 161,729千円
(144,822千円)

教育の充実に必要な経費を計上

- ・国際教育の充実
- ・図書教育の充実
- ・個別指導体制の充実
- ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施
- ・郷土教育（リーダー育成のためのキャリア教育）の推進 ほか

- 教育環境の整備 151,200千円
(119,790千円)

教育環境の整備に必要な経費を計上

- ・教材備品の購入
- ・吹奏楽備品の整備
- ・小学校教師用教科書・指導書の購入 ほか

○ 安全、安心、快適な学校施設等の整備 715, 758千円
(537, 100千円)

学校施設等の安全、安心、快適な環境整備に必要な経費を計上

- ・学校施設の大規模改修（国府小、松倉中学校校舎）
- ・スクールバスの更新 ほか

○ 幼児教育、高等教育の充実 76, 650千円
(76, 650千円)

幼児教育、高等教育の充実に必要な経費を計上

- ・私立幼稚園の就園に対する助成
- ・私立高等学校、短期大学等に対する助成

○ 安全、安心で魅力ある学校給食の実施 621, 136千円
(593, 485千円)

児童生徒の心身の健全な発達を図るために必要な給食運営経費を計上

- ・安全、安心なおいしい学校給食の提供
- ・学校給食センターの運営（高山、清見、一之宮、久々野、本郷）
- ・調理用機械器具、給食配送車両の更新 ほか

<文化>

○ 地域文化継承への支援 3, 184千円
(2, 355千円)

地域の文化継承に必要な費用を計上

- ・歴史ガイドマスター養成事業
- ・ふるさと伝承記録整備
- ・伝承芸能保存団体に対する助成 ほか

○ 歴史的町並み保存の推進 83, 190千円
(81, 000千円)

歴史的な町並み保存の推進に必要な費用を計上

- ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成
- ・伝統的建造物群保存地区防災対策に対する助成
- ・歴史的建造物群耐震化対策事業 ほか

○ 歴史・文化活用の推進 127, 857千円
(6, 406千円)

歴史・文化を活用した地域づくりの推進に必要な経費を計上

- ・伝統文化拠点交流施設（旧森邸等）の整備（新規）
- ・まちの博物館における特別展等の開催
- ・文化財多言語看板の設置

消 防 本 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成26年度 当初予算額	平成27年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	571,311	592,193	20,882	3.66

主な増減理由

- ・ 消防車両更新に伴う増 34,074千円
- ・ 消防団員退職報償金の減 △28,976千円

要求に関する基本方針

- 市民の安心・安全を確保するための消防装備等の充実強化
- 消防団員の安全確保と消防団施設や資器材の整備による団活動の充実及び団員の士気高揚、団員の確保

要求のポイント

() は前年度予算額

<消防>

- 消防車両の更新 156,074千円
(122,000千円)
消防車両等の更新に必要な経費を計上
・ 水槽付消防ポンプ車、高規格救急車、消防団ポンプ車、積載車 ほか
- 消防施設の維持管理 9,218千円
(16,000千円)
消防施設の維持管理に必要な経費を計上
・ 高山支団招集システムの整備
・ 消防団車庫の改修 ほか
- 消防団活動の充実 85,647千円
(113,300千円)
消防団活動に必要な経費を計上
・ 消防団員出動報酬
・ 消防団員退職報償金
・ 消防用ホース等の更新 ほか